



中野四季の森公園

パシフィックコンサルタンツ株式会社

西上律治・三井亨保・岡野郊子・池田陽祐・頓所弘行・新畑朋子・平本 圭・吉川智子・
福田雅世・斉藤泰久・細川照生・岡本尚胤・佐竹 健

有限会社イー・エー・ユー 西山健一

東京大学社会基盤学科 中井 祐

本公園は、駅から近い上に商業施設や大学等の民有地に3辺が囲まれた立地であることから、中野の顔としての賑わいの演出が求められ、また災害時には約10万人を収容する広域避難場所の一部であることから、生活用水・災害用トイレ・避難スペースの確保が求められた。

そのため、「まち」「ひと」「防災」「環境」の要素を統合化し、人の流れやたまりをプログラムしデザインした。具体的には、生活用水を確保し、賑わいを演出する装置となるよう防災用井戸を水源とした水景施設（流れ、池、噴水）を設置した。また、トイレ棟の計画では、災害トイレ用のテント等を備蓄する倉庫を併設するだけでなく、平常時には、プレイリーダの活用拠点となり、災害時の活動拠点ともなる多目的ス

作品評

この作品は、中野区の警察大学校等跡地利用におけるオープンスペースとして、賑わいの演出とともに、災害時の防災拠点として機能する公園を整備したものである。災害時における水の提供を意識した水景施設は、日常利用における公園のシンボル施設として豊かな景観や雰囲気を提供しており、その他の広場の使い方など防災機能と日常利用のデザインが違和感なく調整されている。

また、地区全体の委員会や周辺関連施設との調整、施工に際しての芝種や舗装材の試験施工など、こうした取組みが設計にうまく反映され、全体として周辺施設と一体性を持った空間ができています。

ペースを併設した。今後、ここを拠点としプレイリーダが育っていくことを期待している。

作品概要

作品名：中野四季の森公園
所在地：東京都中野区中野4丁目13番
発注：中野区
設計：パシフィックコンサルタンツ株式会社
設計協力：有限会社イー・エー・ユー、東京大学社会基盤学科
中井 祐 教授
監理：パシフィックコンサルタンツ株式会社
施工：飛鳥・大澤JV
設計期間：基本計画：2008年10月～2009年3月
基本設計・実施設計：2009年6月～2010年3月
施工期間：2010年10月～2012年3月
規模：約1.5 ha
主要施設：多目的広場、池、流れ、噴水ステージ



ほとんどの樹木を地区内から移植することで、竣工当初から大きな木に包まれ、枝下の見通しが確保できた



噴水（WATER ROOM）。ノズルを田の字型に配置し、各辺を形成する12の水の壁がつくる噴水の部屋をこどもたちが自由に移動できる
災害時には噴水周りの池や流れで生活用水が採取できるように設えた



公園内のイベント時の様子。多くの人で賑わいながらも、滞留空間と歩行空間を確保できるようにした



芝生広場を取り囲むようにサクラと徳川吉宗がこの地区に植えたといわれるモモを配置させた回廊。秋には紅葉も楽しめる



土地の歴史を継承するケヤキが現位置保存できるように、造成計画を工夫した